

2023年「重点指導事項」

日本高等学校野球連盟
審判規則委員会

【マナー】の徹底

今年度の規則改正では、指名打者ルールおよびサスペンデッドゲームについての改正が行われました。高校野球では、指名打者ルールについては採用していません。

また、天候状態などで球審が試合の途中で打ち切りを命じた場合は、サスペンデッドゲームではなく、2022年度より採用しました高校野球特別規則 22.「継続試合の取り扱い」で運用していますので、どちらも特に影響が及ぶ規則改正ではありません。（一部府県除く）

さて、最近の試合において、マナー面で望ましくない事例が散見されます。諸規則に明記されていない事例もありますが、スポーツマンシップの観点からも競技する者においては最も大切なことであり、注意を払わなければなりません。

下記に、よく見受けられる事例を列挙します。

今年度は、【マナー】に重点を置いた指導をお願いいたします。

1. ユニフォームの着方について

- ・帽子の被り方（頭に浅く乗せているような被り方で、特に投球後度々脱げる投手）
- ・上着の着方（ベルトが見えず、だぶついた着方）
- ・ストッキングの履き方（ズボンの上に被せる履き方）
- ・ズボンの裾を下まで下げる着方（ストッキングの見え方が不揃いのチーム）

2. プレイ上について

- ・投手がロジンバッグを投手板の後方に置かず、乱雑に扱う行為
- ・投手がまだ十分に構えきれていない打者に対して投球をしようとする行為
- ・投手が走者や打者を焦（じ）らそうとして、意図的に球持ちを長くする行為
- ・打者が投球を避けず、安全のために装着している保護具で当たろうとする行為
- ・打者が四球を得るために著しく低く構えるなど、投手を幻惑させようとする行為
- ・打者が投球に際し、踏み出す足を上げてから本塁上方空間に被せる行為
- ・打者が捕手の構える位置を見る行為
- ・捕手が投球を逸らしたあと、自身で処理せず球審に向かってボールを要求する行為
- ・ブルペン捕手がマスクをグラウンド上に置いて捕球する行為
- ・ベースコーチが打者走者の触塁に合わせて「セーフ」のジェスチャーをする行為
- ・ベースコーチが捕手の動きを見て発声によりコースなどを伝える行為
- ・グラブやミットのしめ紐が長く、結ばれていないケース

3. 挨拶について

- ・整列時の挨拶が同時に揃わずずれてしまうケース
- ・勝利チームの校歌が終わり、主将が改めて相手チームに挨拶をする行為

上記以外の【マナー】についても併せてご指導をお願いいたします。